

住宅設計、住宅整備のエキスパートを目指す。

概要：生活者のニーズに対応した「住まい」を提案、設計する、その基本的資質を育てるための履修モデルです。

主な進路(就職・進学)

住宅メーカー、住宅設備機器メーカー、住宅リフォーム関連会社など

科目区分	1年次		2年次		3年次		4年次		計	
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数		
教養特別講義	教養特別講義1	1	教養特別講義2-I	0.5	教養特別講義2-II	0.5			2	
基礎科目	外国語 (英語)	プレゼンテーション・イングリッシュa	2						8	
		プレゼンテーション・イングリッシュb	2							
		アクティブ・イングリッシュa	2							
アクティブ・イングリッシュb		2								
情報処理	基礎情報処理	2						2		
身体運動	身体運動Ia	1						2		
	身体運動Ib	1								
教養科目 A. 地球市民をめざして B. よき生をもとめて C. 知と感性を磨く	A 女性と法律 B 生活・環境と化学 B 住と健康 B 心と健康	2 2 2 2	A ジェンダーの社会史	2	C ことばとは何か	2			12	
学部共通科目	人間と生活	2	生活と児童 生活と食物	2 2					6	
学科科目	共通	や専門基礎科目への導入とデザイン・基礎設計の体系的な科目から構成されています。生活者の視点を中心に置きながら、空間デザイン基礎	住居計画 図学 基礎製図I 基礎製図II 住居構力と形 基礎数学 基礎物理 西洋住居史 日本住居史	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	住生活学 コンピュータデザインI 設計製図 構造力学1 建築材料 住居環境 建築設備I 構造力学2	2 2 2 2 2 2 2 2	建築構法 建築施工 建築法規	2 2 2	卒業論文の高い科目と4年間の集大成としての卒業論文・卒業制作から問題に取り組み、各々の専門を切り開くべく取り組みます。	44
			専門科目	住居管理 バリアフリーデザイン論 建築設計I 建築計画 住環境計画 住居安全情報論 住宅政策	2 2 2 2 2 2 2	都市計画 インテリアデザイン インテリアデザイン演習 福祉環境論 ランドスケープデザイン	2 2 2 2 2			24
	関連科目					環境・設備演習 建築総合演習 I または II	4 2		6	
	その他					住居学演習 I	2	住居学演習 II 卒業論文・卒業制作	4 4	10
自由選択科目			消費生活論I 色彩環境論	2 2	キッチンデザイン論 建築と社会 福祉環境演習 ユニバーサルデザイン論	2 2 2 2			12	
資格関係・キャリア	教職課程等									
	単位数	45	40.5	34.5	8	128				

()内は卒業要件に含まれない単位数
緑色の科目名は推奨授業科目

住教育に興味を持ち、教員を志向する。

概要: 住まいや町のことを子供や地域の人に教える人が求められるようになってきています。生活がどうあるべきなのか、そのための住まい・まちはどうあるべきなのかを、住む人自身が賢く考えることを支援するための資質を養います。

主な進路(就職・進学)
公務員、住まい・まちづくりコンサルタント、NPO(住宅・マンション・まちづくり)、教員(中高の家庭科)など

科目区分	1年次		2年次		3年次		4年次		計
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	
教養特別講義	教養特別講義1	1	教養特別講義2-I	0.5	教養特別講義2-II	0.5			2
基礎科目	外国語 (英語)	プレゼンテーション・イングリッシュa	2			メディア・リスニング	2		8
		プレゼンテーション・イングリッシュb	2						
		アクティブ・イングリッシュa	2						
アクティブ・イングリッシュb		2							
情報処理	基礎情報処理	2			応用情報処理	2			2
身体運動	身体運動Ia 身体運動Ib	1 1			身体運動IIa 身体運動IIb	1 1			2
教養科目 A. 地球市民をめざして B. よき生をもとめて C. 知と感性を磨く	A 日本国憲法	2	A ジェンダーの社会史	2	C ことばとは何か	2			12
	B 生活・環境と化学	2							
	B 生命の科学 C 数学と人間	2 2							
学部共通科目	人間と生活	2			家族関係論 家庭管理論	2 2			6
学科科目	共通	住居計画 図学 基礎製図I 基礎製図II 住居構造 力と形 基礎数学 基礎物理 西洋住居史 日本住居史	住前期生活は1年次同様環境に基礎的に関わる共通科目を学ぶ。	住居生活学 コンピュータデザインI 設計製図 構造力学1 建築材料 住居環境 建築設備I 構造力学2	各2年次の専門的な科目での理解に彩色を加えて、開講されてい分析し、発展的に居住環境をデザインする力身につけます。	建築構法 建築施工 建築法規	卒業論文・高い科目と4年間、その集大成としての卒業論文・卒業制作から問題に取り組み、各々の専門を切り開くべく取り組みます。		44
			消費生活論I 住環境計画 建築計画 住居管理 バリアフリーデザイン論 建築設計I 日本建築史 西洋建築史 住居安全情報論 住宅政策	建築と社会 インテリアデザイン 調査分析法 地域施設計画論 福祉環境論 福祉環境演習 住宅経済			32		
			住居学演習I	2	住居学演習II 卒業論文・卒業制作	4 4	10		
その他									
	衣食生活学 栄養・食品科学	2 2	衣服実習I 衣服実習II 保育学(実習及び家庭看護を含む)	1 1 2	0				
家政学関連									
自由選択科目	衣空間デザイン概説	2	労働法・社会保障法 オーラルコミュニケーション 家庭電気・機械及び情報処理 調理実習I 調理実習II	2 2 2 1 1	生活文化論概説	2			12
資格関係・キャリア	教職基礎論(中高)	(2)	教育学概論(中高) 教育社会学(中高) 教育心理学(中高) 道徳教育の研究(中) 特別活動の研究(中高) カリキュラム論(中高) 家庭科教育法I	(2) (2) (2) (2) (1) (1) (2)	家庭科教育法II 家庭科教育法III 教育学(中高) 生徒指導 教育実習I(中高)	(2) (2) (2) (2) (0)	学校カウンセリング基礎論(中高) 教育実習I(中高) 教職実践演習(中高)	(2) (5) (2)	(31)
単位数		47 (2)		46.5 (12)		28.5 (8)		8 (9)	130 (31)

()内は卒業要件に含まれない単位数
緑色の科目名は推奨授業科目

子ども、高齢者、障害者など、福祉的視点から住環境やまちづくりを考える。

概要: 少子高齢社会において、子育て・育ちの視点、また高齢者や障害者の視点から、安全・安心の住まいづくり、まちづくりを推進することは不可欠となっています。そのようなことは「当たり前」として住環境整備を考えることができる資質を身につけ、多くの人がともに暮らせる社会の基礎を築くことを目指します。

主な進路(就職・進学)

住宅設計(ハウスメーカー等)、住宅設備機器メーカー、福祉住環境コーディネーター、まちづくりコンサルタントなど

科目区分	1年次		2年次		3年次		4年次		計	
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数		
教養特別講義	教養特別講義1	1	教養特別講義2-I	0.5	教養特別講義2-II	0.5			2	
基礎科目	外国語 (英語)	プレゼンテーション・イングリッシュa	2						8	
		プレゼンテーション・イングリッシュb	2							
		アクティヴ・イングリッシュa	2							
アクティヴ・イングリッシュb		2								
情報処理	基礎情報処理	2						2		
身体運動	身体運動Ia	1						2		
	身体運動Ib	1								
教養科目 A. 地球市民をめざして B. よき生をもとめて C. 知と感性を磨く	A 女性と法律	2	A ジェンダーの社会史	2				12		
	B 生命の科学	2	A 社会福祉学	2						
	B 住と健康	2								
	C 数学と人間	2								
学部共通科目	人間と生活	2	生活と児童 生活と食物	2 2				6		
学科科目	共通	基礎専門科目への導入として、設計系の科目から構成されています。生活者の視点が多岐にわたる科目が、空間デザイン基礎や	2	住居計画 図学 基礎製図I 基礎製図II 住居構造 力と形 基礎数学 基礎物理 西洋住居史 日本住居史	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	住生活学 コンピュータデザインI 設計製図 構造力学1 建築材料 住居環境 建築設備I 構造力学2	2 2 2 2 2 2 2 2	建築構法 建築施工 建築法規	2 2 2	卒業論文・卒業制作と4年間の集大成としての卒業論文・卒業制作から問題に取り組み、各々の専門を切り開くべく取り組まします。
		専門科目	住居管理 バリアフリーデザイン論 建築設計I 建築計画 住環境計画 住居安全情報論 住宅政策	2 2 2 2 2 2 2	福祉環境論 都市計画 福祉環境演習 まちづくり基礎演習 地域施設計画論 住宅経済	2 2 2 2 2 2				
		関連科目			住居学演習 I または II 環境・設備演習	2 4				
		その他			住居学演習 I	2		住居学演習 II 卒業論文・卒業制作	4 4	
自由選択科目	児童家庭福祉 色彩環境論	2 2	消費生活論I 発達障害	2 2	建築と社会 建築環境工学 調査分析法 インテリアデザイン ユニバーサルデザイン論 キッチンデザイン論 子どもと地域社会	2 2 2 2 2 2 2		14		
資格・キャリア 関係科目等	教職課程等									
単位数		45	40.5	38.5	8	132				

()内は卒業要件に含まれない単位数
緑色の科目名は推奨授業科目